

中小企業景況調査報告書

2023年 7～9月期実績
2023年10～12月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。
調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

- (1) 調査対象時期等
 - ①調査対象時期：2023年7～9月期の実績及び2023年10～12月期見通し
 - ②調査期間：2023年8月22日～9月1日 ※調査時点は2023年9月1日
- (2) 調査方法
 - ①商工会の経営指導員等による訪問面接調査
 - ②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。
- (3) 調査対象商工会
 - ①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別枝幸町、安平町、大樹町、本別町、標茶町
 - ②人口10,000～29,999人・・・七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、別海町
 - ③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	51	50	98.0%	小売業	85	83	97.6%
建設業	48	45	93.8%	サービス業	116	110	94.8%
				合計	300	288	96.0%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

- (5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？
前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。
例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は50-20=(+)30となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前 期 比					
	今期	来期見込	R4. 7-9	R4. 10-12	R5. 1-3	R5. 4-6	今期	来期見込
製造業	▲ 2.0	▲ 10.0	▲ 6.4	▲ 18.8	▲ 17.8	10.0	6.0	▲ 10.0
建設業	▲ 20.0	▲ 17.7	▲ 6.3	▲ 10.4	▲ 15.9	0.0	▲ 8.9	▲ 11.1
小売業	▲ 27.8	▲ 30.2	▲ 26.8	▲ 35.4	▲ 43.6	▲ 31.4	▲ 25.3	▲ 25.3
サービス業	▲ 11.8	▲ 20.9	▲ 15.1	▲ 26.4	▲ 34.6	▲ 12.7	▲ 13.6	▲ 17.2

3. 北海道内商工会地域の状況

製 造 業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R4. 10-12	R5. 1-3	R5. 4-6	今期	来期見込
業況	好 転	16.0	10.0	10.4	8.9	22.0	18.0	14.0
	不 変	66.0	70.0	60.4	64.4	66.0	70.0	62.0
	悪 化	18.0	20.0	29.2	26.7	12.0	12.0	24.0
	D・I	▲ 2.0	▲ 10.0	▲ 18.8	▲ 17.8	10.0	6.0	▲ 10.0
売上(加工)額	増 加	30.0	22.0	20.8	19.6	32.0	38.0	
	不 変	40.0	54.0	37.5	32.6	46.0	34.0	
	減 少	30.0	24.0	41.7	47.8	22.0	28.0	
	D・I	0.0	▲ 2.0	▲ 20.9	▲ 28.2	10.0	10.0	
資金繰り	好 転	6.1	6.1	4.3	2.3	8.2	8.2	
	不 変	81.7	83.7	65.9	79.5	77.5	79.6	
	悪 化	12.2	10.2	29.8	18.2	14.3	12.2	
	D・I	▲ 6.1	▲ 4.1	▲ 25.5	▲ 15.9	▲ 6.1	▲ 4.0	
原材料仕入単価	上 昇	83.7	71.4					
	不 変	16.3	28.6					
	低 下	0.0	0.0					
	D・I	83.7	71.4					
採算(経常利益)	好 転	18.0	8.0					
	不 変	56.0	70.0					
	悪 化	26.0	22.0					
	D・I	▲ 8.0	▲ 14.0					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

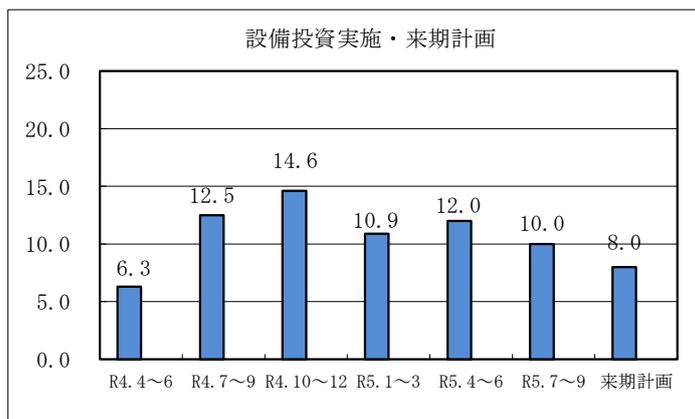
回答50事業所の内、5事業所(10.0%)が実施。

●生産設備=3事業所、●工場建物=2事業所、●車両運搬具=1事業所

【来期計画内容】

回答50事業所の内、来期に4事業所(8.0%)が計画。

●生産設備=2事業所、●車両運搬具、付帯施設、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様の「原材料価格の上昇」で前回より0.8ポイント減少している。2位は前回3位だった「従業員の確保難」で4.1ポイント増加している。3位は前回2位だった「需要の停滞」で2.4ポイント減少している。4位は前回5位だった「生産設備の不足・老朽化」で4.6ポイント減少した。5位は前回番外だった「生産設備の過剰」で前回より4.6ポイント減少した。



建設業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	今期	来期見込
業況	好転	4.4	6.7	10.4	9.1	17.0	8.9	6.7
	不変	71.2	68.9	68.8	65.9	66.0	73.3	75.5
	悪化	24.4	24.4	20.8	25.0	17.0	17.8	17.8
	D・I	▲ 20.0	▲ 17.7	▲ 10.4	▲ 15.9	0.0	▲ 8.9	▲ 11.1
完成工事 (請負工事)額	増加	20.0	17.8	33.3	15.6	26.1	31.1	
	不変	42.2	55.5	37.5	44.4	36.9	48.9	
	減少	37.8	26.7	29.2	40.0	37.0	20.0	
	D・I	▲ 17.8	▲ 8.9	4.1	▲ 24.4	▲ 10.9	11.1	
資金繰り	好転	4.5	2.3	10.4	2.3	11.1	4.5	
	不変	81.9	86.3	75.0	84.1	77.8	88.7	
	悪化	13.6	11.4	14.6	13.6	11.1	6.8	
	D・I	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 4.2	▲ 11.3	0.0	▲ 2.3	
材料 仕入単価	上昇	75.0	63.6					
	不変	25.0	36.4					
	低下	0.0	0.0					
	D・I	75.0	63.6					
採算(経 常利益)	好転	2.2	4.4					
	不変	71.1	68.9					
	悪化	26.7	26.7					
	D・I	▲ 24.5	▲ 22.3					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

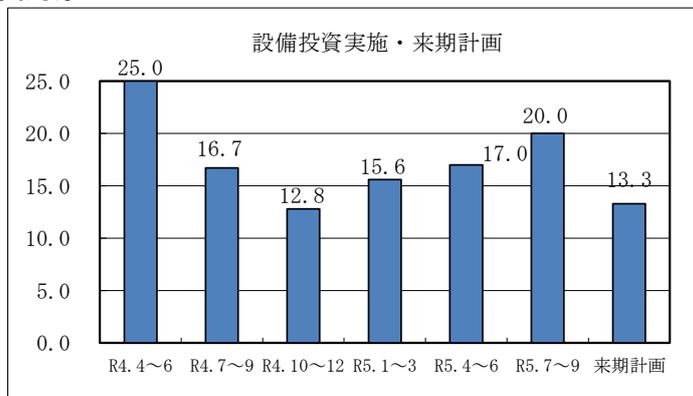
回答45事業所の内、9事業所(20.0%)が実施。

●車両・運搬具=3事業所、●土地、建物、OA機器=2事業所、●建設機械、その他=各1事業所、

【来期計画内容】

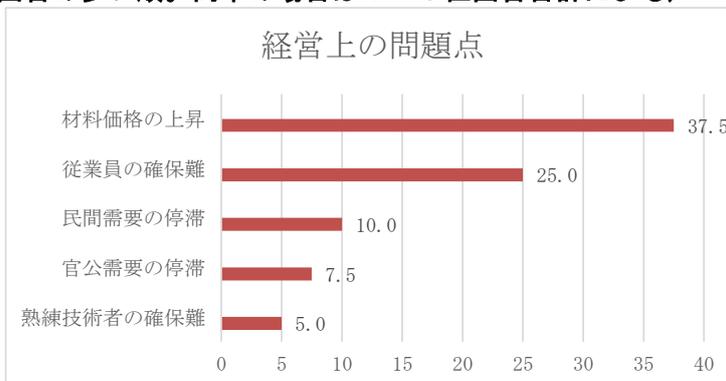
回答45事業所の内、来期は6事業所(13.3%)が計画。

●車両・運搬具=4事業所、●建設機械=3事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様の「材料価格の上昇」で12.5ポイント減少した。2位も前回同様の「従業員の確保難」で1.2ポイント増加した。3位も前回同様の「民間需要の停滞」で0.5ポイント増加した。4位は前回番外の「官公需要の停滞」で5.1ポイント増加した。5位は前回同様の「熟練技術者の確保難」で0.2ポイント増加した。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-9	今期	来期見込
業況	好 転	12.0	8.4	7.3	3.8	7.2	9.6	9.6
	不 変	48.2	53.0	50.0	48.8	54.2	55.5	55.5
	悪 化	39.8	38.6	42.7	47.4	38.6	34.9	34.9
	D・I	▲ 27.8	▲ 30.2	▲ 35.4	▲ 43.6	▲ 31.4	▲ 25.3	▲ 25.3
売上額	増 加	27.7	16.9	23.2	12.8	21.7	16.9	
	不 変	42.2	53.0	39.0	39.8	44.6	53.0	
	減 少	30.1	30.1	37.8	47.4	33.7	30.1	
	D・I	▲ 2.4	▲ 13.2	▲ 14.6	▲ 34.6	▲ 12.0	▲ 13.2	
資金繰り	好 転	4.9	4.9	0.0	2.7	2.4	4.9	
	不 変	70.7	73.1	65.4	64.9	70.8	73.1	
	悪 化	24.4	22.0	34.6	32.4	26.8	22.0	
	D・I	▲ 19.5	▲ 17.1	▲ 34.6	▲ 29.7	▲ 24.4	▲ 17.1	
商 品 仕入単価	上 昇	72.3	67.5					
	不 変	25.3	30.1					
	低 下	2.4	2.4					
	D・I	69.9	65.1					
採算(経 常利益)	好 転	13.3	8.4					
	不 変	48.1	54.3					
	悪 化	38.6	37.3					
	D・I	▲ 25.3	▲ 28.9					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

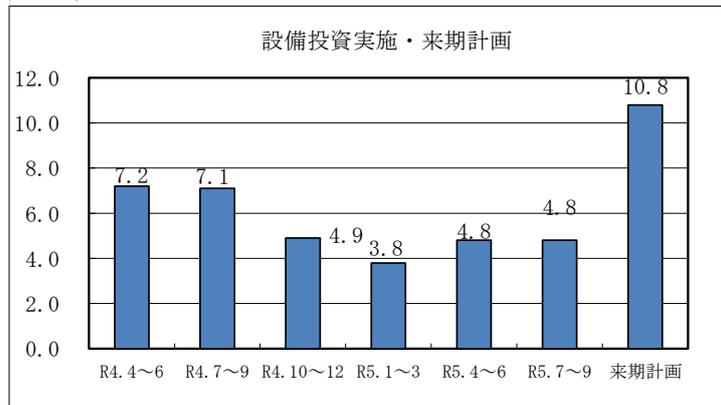
回答83事業所の内4事業所(4.8%)が実施。

●販売設備=2事業所、●車両・運搬具、OA機器=各1事業所

【来期計画内容】

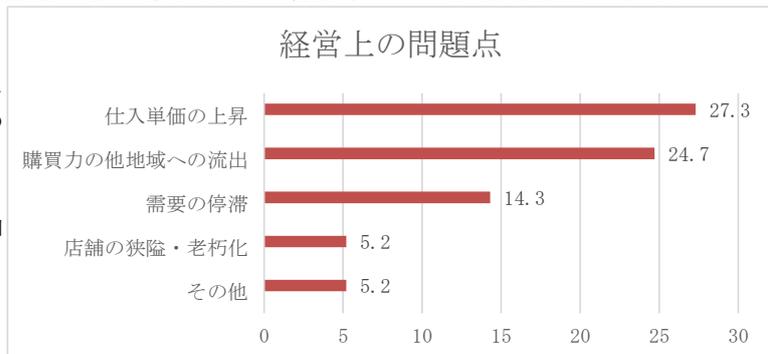
回答83事業所の内、来期は9事業所(10.8%)が計画。

●販売設備=4事業所、●OA機器=3事業所、●車両・運搬具、土地=各2事業所、●店舗=1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回2位だった「仕入単価の上昇」で6.2ポイント増加した。2位は前回1位だった「購買力の他地域への流出」で前回から1.6ポイント減少した。3位も前回同様「需要の停滞」で4.1ポイント減少した。4位は前回番外の「店舗の狭隘・老朽化」で0.1ポイント減少した。5位も前回番外の「その他」で2.6ポイントの増加となっている。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R4. 10-12	R5. 1-3	R5. 4-6	今期	来期見込
業況	好 転	12.7	5.5	4.7	5.8	11.8	9.1	7.3
	不 変	62.8	68.1	64.2	53.8	63.7	68.2	68.2
	悪 化	24.5	26.4	31.1	40.4	24.5	22.7	24.5
	D・I	▲ 11.8	▲ 20.9	▲ 26.4	▲ 34.6	▲ 12.7	▲ 13.6	▲ 17.2
売上(収入)額	増 加	35.5	20.0	11.9	14.3	30.6	33.6	
	不 変	37.2	51.8	48.7	38.1	41.5	41.9	
	減 少	27.3	28.2	39.4	47.6	27.9	24.5	
	D・I	8.2	▲ 8.2	▲ 27.5	▲ 33.3	2.7	9.1	
資金繰り	好 転	5.6	4.6	2.8	1.0	5.5	6.5	
	不 変	72.2	71.3	69.2	71.8	72.5	74.1	
	悪 化	22.2	24.1	28.0	27.2	22.0	19.4	
	D・I	▲ 16.6	▲ 19.5	▲ 25.2	▲ 26.2	▲ 16.5	▲ 12.9	
仕入単価(材料等)	上 昇	67.0	62.4					
	不 変	29.3	33.0					
	低 下	3.7	4.6					
	D・I	63.3	57.8					
採算(経常利益)	好 転	10.9	8.2					
	不 変	53.6	57.3					
	悪 化	35.5	34.5					
	D・I	▲ 24.6	▲ 26.3					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

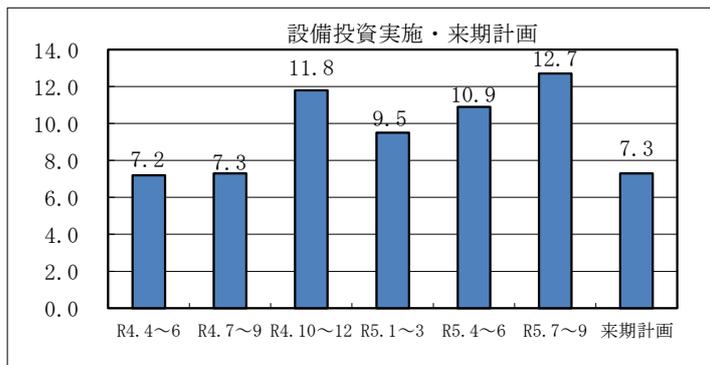
回答110事業所の内、14事業所(12.7%)が実施。

●車両・運搬具=7事業所、●付帯施設=3事業所、●サービス、OA機器=各2事業所、●建物、その他=各1事業所

【来期計画内容】

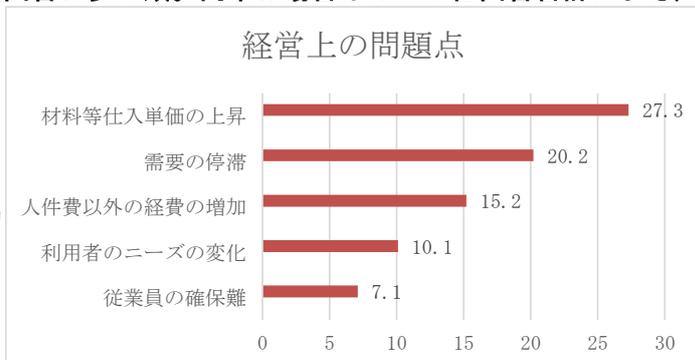
回答110事業所の内、8事業所(7.2%)が計画。

●車両・運搬具、付帯施設、建物=各2事業所、●サービス、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様の「材料等仕入単価の上昇」で、0.2ポイント増加している。2位も前回同様の「需要の停滞」で2.7ポイント減少した。3位は前回4位だった「人件費以外の経費の増加」で6.9ポイント増加した。4位は前回3位だった「利用者のニーズの変化」で1.4ポイント減少した。5位は前回同様の「従業員の確保難」で0.8ポイント増加した。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

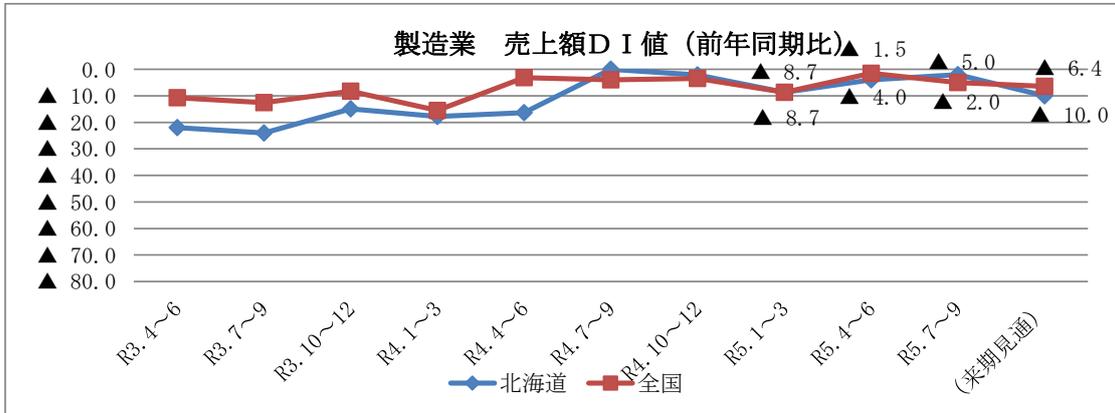
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

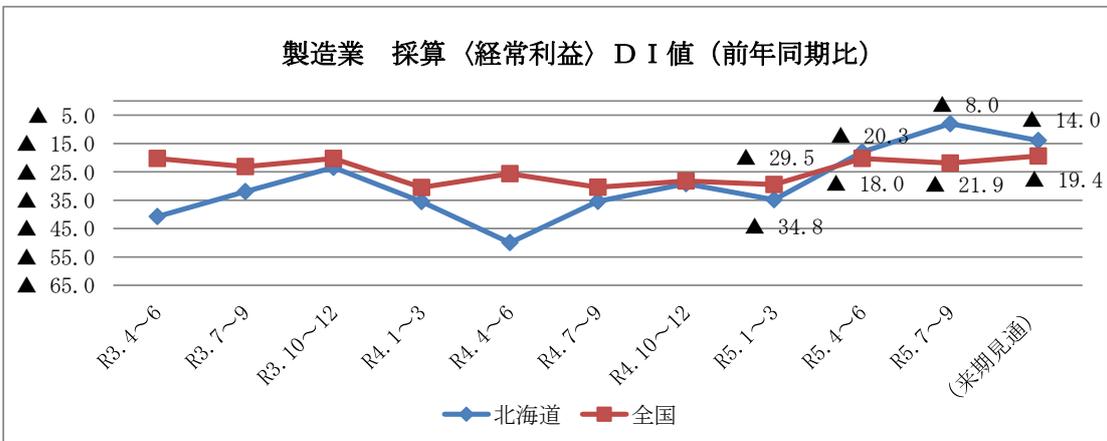
【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
(見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

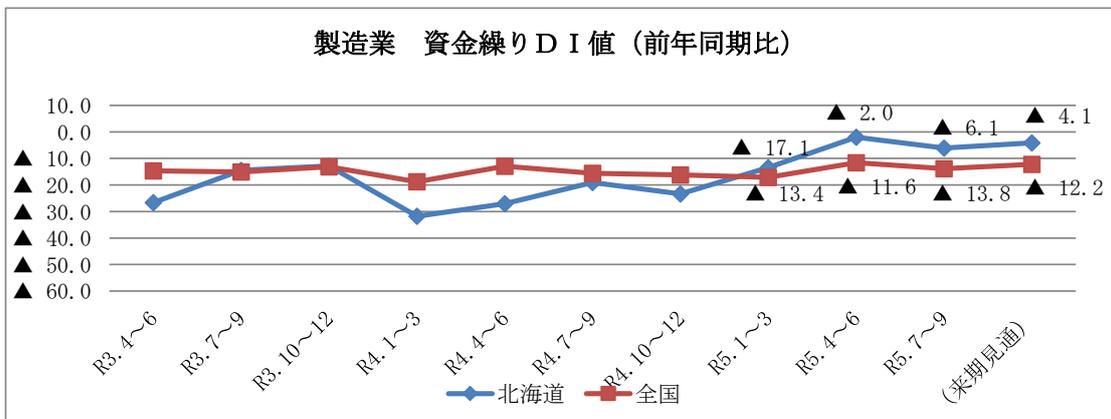
売上額



採算



資金繰り

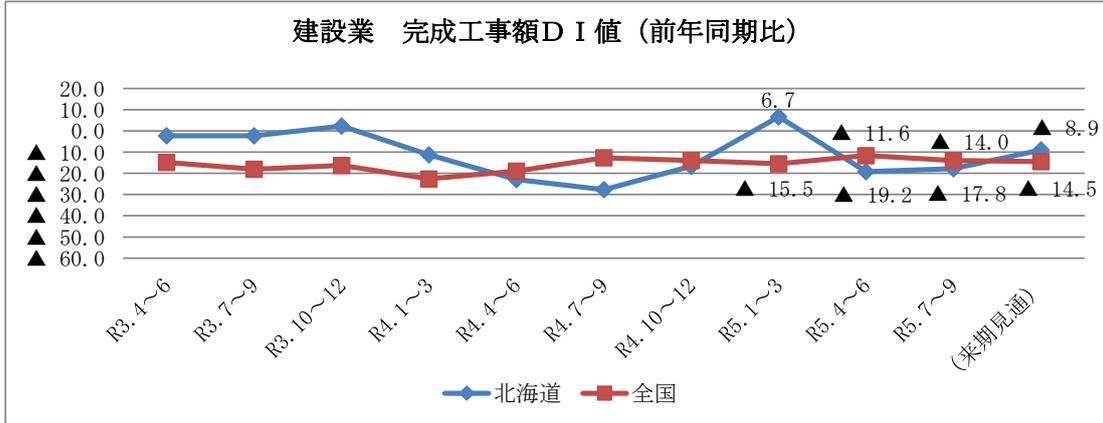


建設業

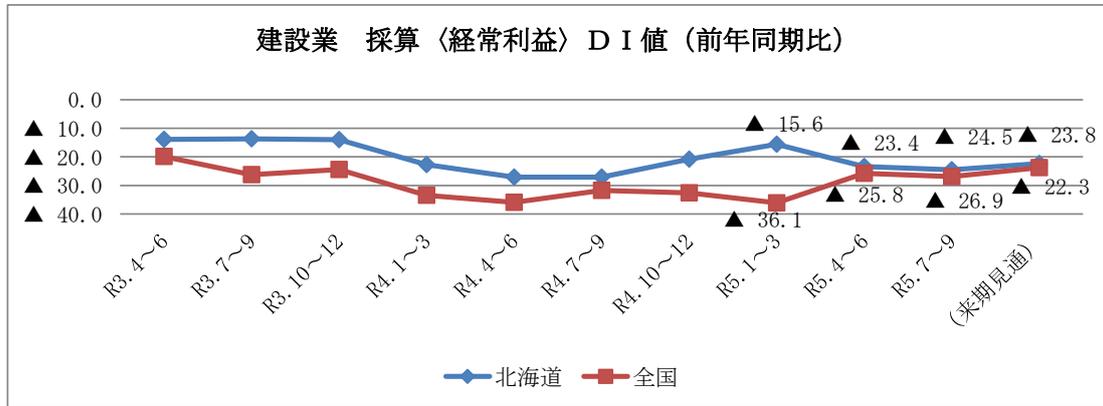
【北海道】(今期)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
(見込)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…上昇

【全国】(今期)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
(見込)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

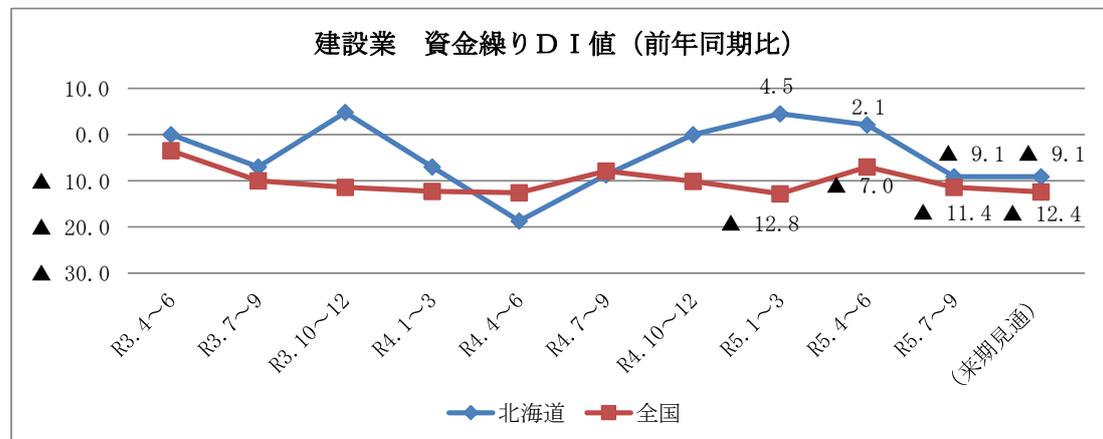
完成工事額



採算



資金繰り



小売業

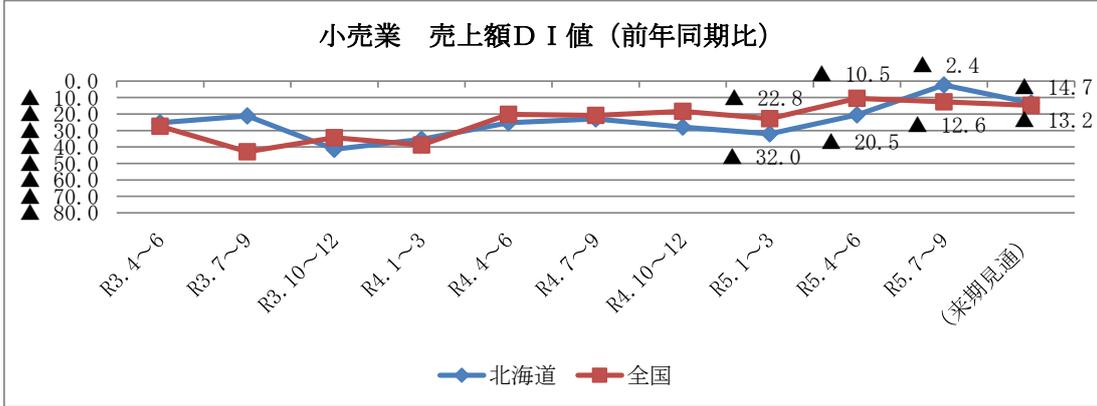
【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

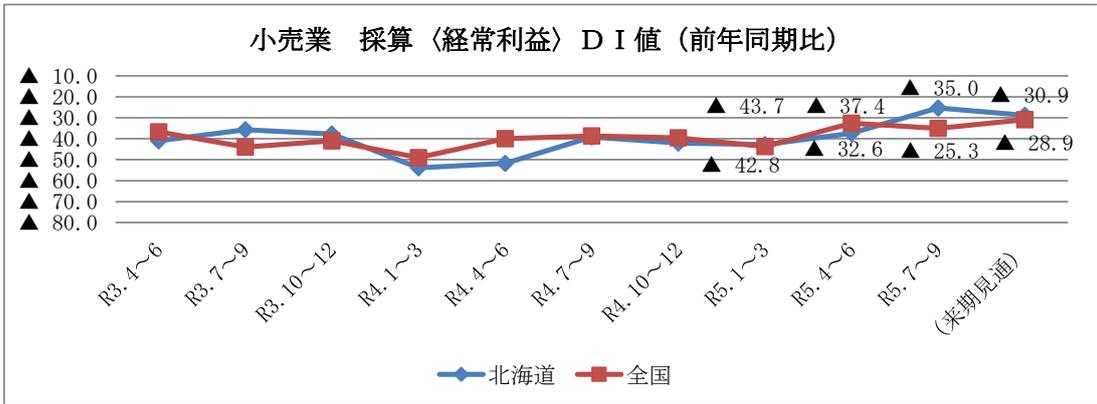
【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

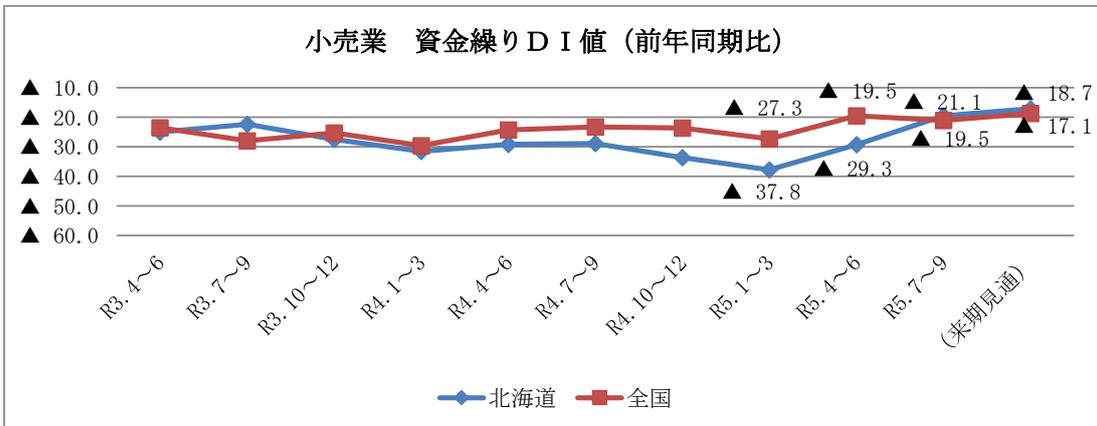
売上額



採算



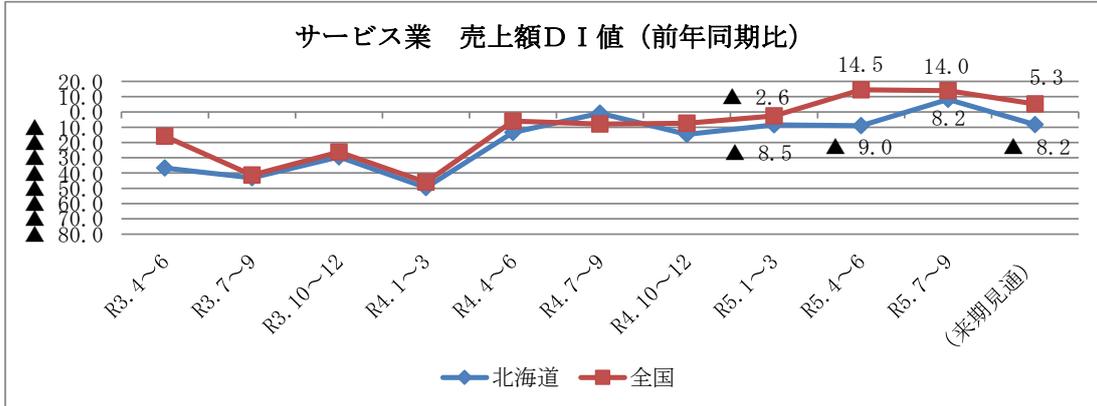
資金繰り



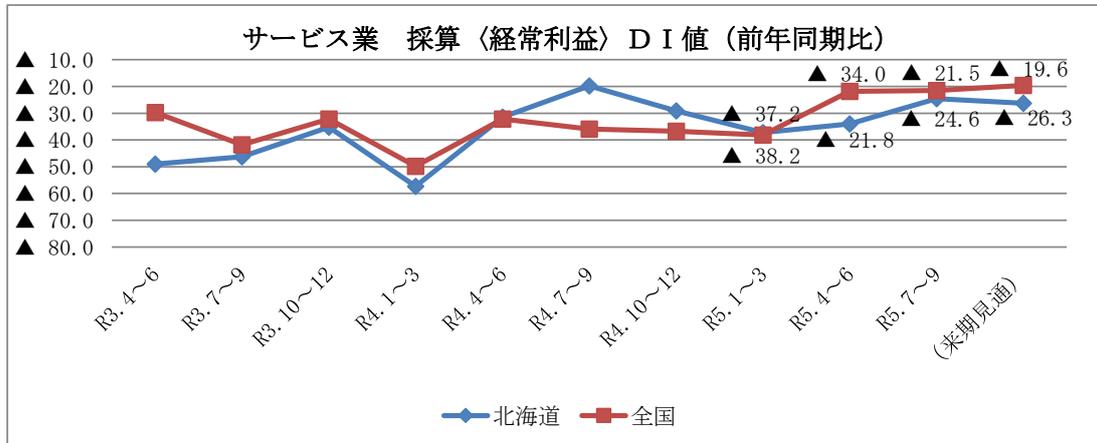
サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

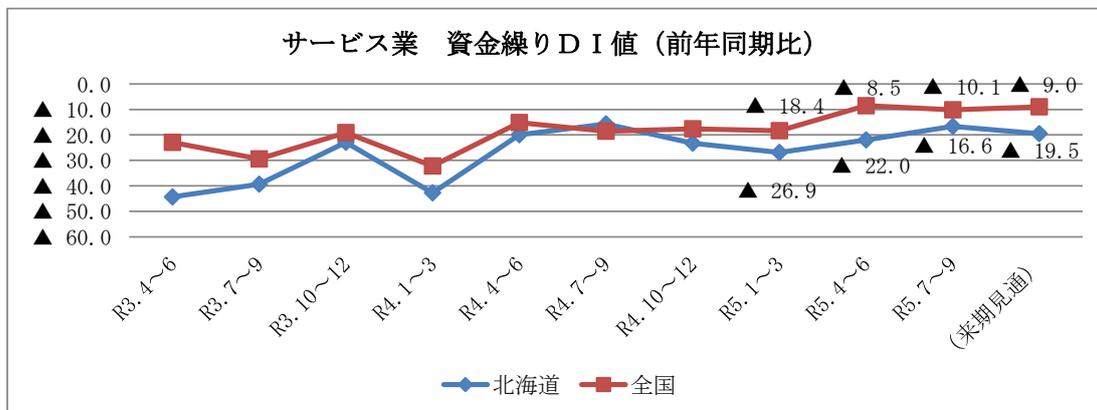
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>○加工依頼していた皮が使えない状態で届いたこと。暑さで毛皮用の皮が腐ってしまったこと。備品や薬品など必要経費が上がったこと。不測の事態が重なりどのようにするべきか悩んでいる。新商品が必要だ。</p> <p>○この夏よりバターの供給が減少。国産原材料の使用が基本の私共は復調の波に乗れません。バター製造時にできる脱粉の在庫調整からバターの製造を抑えているとのことですが、繁忙期の12月には十分な供給を望みます。</p> <p>○原材料高の状況が続いており、悪い状況が続いている。</p> <p>○今年度はイベント等もコロナ前に戻りつつあるが、以前難しい状況が続いている。</p> <p>○自社の業況においては前年同様安定しております。資材の高騰など不安要素はありますが、今期も黒字決算が見込めそうです。</p> <p>○公共事業の地区別・年度別の需要が端境期に向かっている。水の仕入販売の増加を今年は力を入れるしかない。</p> <p>○昨年より消耗品、燃料、生コンの値上げが複数回あり値上げのタイミングに苦労した。また、石材の仕入が為替での取引となるため、こちらも値上がりし石材の種類の変更の幅が狭くなり、売りにくい状況となっている。</p> <p>○今後日本経済が衰退していく中で、所得が上がらず、当社の商品のようにこだわりがあったとしても割高な商品は敬遠されるのでは？価格だけで選択されるのでは？</p> <p>○生産コストの上昇による利益の減少が大きな問題。人件費の上限も必要ななか、先が見えない。以上をふまえた上設備、資金、技術者が不足し、方向転換が必要と考えるが、これも資金不足でまかなえない。</p> <p>○度重なる原材料の高騰に加え、光熱費や燃料費等の負担額が激増しているが、その全てを売上に転化できない。今後の状況も分からず、見積額の設定が難しい。</p> <p>○イベント等が活発に行われる様になりスポット注文が増加し売上也上昇。従業員不足により生産が追いつかず一部お断りをした分もあるので従業員確保が課題。ブラジルの鳥インフルエンザの影響による価格高騰も懸念材料。</p> <p>○コロナが5類になった事で帰省に伴う客や訪問用の菓子を求める客が増えた一方、物価上昇により嗜好品の需要の低下に伴う売上の低下も見られる。そしてコロナ前の状況には戻っていない現状です。</p> <p>○商圏釧路のに集中して、大型店での王様の厚揚げをPRを実施し、更に豆腐専門の存在を高めるために水・大豆・製法に際立てることを宣伝し、ヘルシーなお土産品として販売を強化する。</p> <p>○従業員の高齢化で、退職する人があり、その補充が難しい。慢性的な人手不足である。</p>
建設業	<p>○民需・官需共に受注額が伸び悩み、特に民需は引き合いも弱いことから下半期の業績悪化が予想されます。今年度になり、民間工事の規模も縮小しており、設備投資を行える取引先が以前に比して少ないと考えております。</p> <p>○公共民間共に活発で安定している。</p> <p>○原材料が高騰している。</p> <p>○燃料の値上げが懸念される。</p> <p>○従業員の高齢化になる前に次世代の方を入れたい。</p> <p>○公共工事において、価格上昇への対応の遅さや求める事の増加や維持費の上昇に対しての経費率の据え置き等表面だけで内容を考慮していないために適正利益を確保する事が出来ない、又は難しく、歪を感じている。</p> <p>○内部の人手不足に比べて、大請業者も人手不足であり、工事の受注が制限される現状である。受注も材料資材の上昇により停滞している現状であり、官民間問わず厳しい現状であり、先が見えない状況が続いている。</p>
小売業	<p>○見積の価格競争激化(材料費は上がっているが価格据え置き業者が増加している)</p> <p>○燃料販売については、仕入単価の高騰による利益の低下や設備工事に対しては従業員の不足により受注することができなかった。</p> <p>○通常7~9月は観光シーズンで来店客が増えるが、今年は各地への分散や天候(猛暑)のせいで、思ったより客数は伸びず。ただ、今までこの時期には少なかった海外のお客様が増えており、今後に期待が持てます。</p> <p>○仕入単価は上がっているが、客単価は変わらない。</p> <p>○仕入単価が上がっており、利幅が少なくなっている。</p> <p>○過疎化により人口が減り、客数が減っている。</p> <p>○地元客が減少した。</p> <p>○ガソリンの仕入れ額が上がっている。</p> <p>○観光客が町に来ているが、来店はしない。</p> <p>○コロナ明けだが店舗の老朽化、人員の高齢化やブランクを感じている。</p> <p>○昨年よりも帰省や観光客が増加しているものの、コロナの次は猛暑の影響で納品のキャンセルが発生。先月は店内の冷蔵庫が故障した。この様な不安定な状況では設備投資より事業縮小を検討するしかない。</p>

<p style="text-align: center;">小 売 業</p>	<p>○1次産業のお客様が減少した。景気の悪さ故、期待していた御中元も減った。イベントはコロナ前に戻った為それなりの売り上げは確保出来た。異常な暑さが電気代高騰にさらに拍車がかかる。ガソリンの値上げも響く。</p> <p>○今年は通常に営業出来ている。新規ユーザーも増えているので販売に力を入れていきたいと思ってます。イベントを効率よく行うことが大事だと感じています。景気の良くない会社(人)と取引を行わない事がプラスに向う。</p> <p>○昨年からは始めたInstagramの効果が始まったのかいままでこれなかった層のお客様が来られるようになり地方からの注文も入るようになったのでこの調子で売上が伸びることを期待して好転の見通しを出しました。</p> <p>○材料費が高くなったことによる仕入単価の上昇が顕著。それによる仕入先の減少が多大な痛手になっている。</p> <p>○消費者の高齢化に伴い宅配・移動販売サービスに顧客が流出。売上が減少しているため仕入れも減少している。価格高騰、物価上昇、経費の増加が続いているので非常に厳しい状況です。</p> <p>○観光など人の動きに連動して売上が増減する商品ラインナップのため、インバウンドの復活など売上増の要因は揃っているものの、原料や資材高騰により足下が固まりきらない。猛暑により売れ筋商品に変化あり。</p>
<p style="text-align: center;">サ ー ビ ス 業</p>	<p>○減少の幅が思ったより大きい。客数増にならないと厳しい。</p> <p>○全てが高い、値上げすればすむ話ではない。</p> <p>○コロナがあげ物価の値上がりを感じるので、従業員2人の雇用も含め今後どうなっていくのか非常に心配しています。</p> <p>○コロナが5類になって業況良好。気温が高すぎて客足が遠のいている。</p> <p>○需要はコロナ前の水準に戻ったと感じる。今後物価上昇で国内需要の減少が予想され、どの程度になるか気掛かりである。</p> <p>○地元客の利用が減っている。</p> <p>○食材、燃料など高くなっているため利幅が少なくなっている。</p> <p>○コロナの時より客は戻ってきているが仕入れ・経費が増え、利益はそれほど戻っていない。</p> <p>○地元客が減少し、売上が減少しています。</p> <p>○食材が高く利益はそれほど良くない。</p> <p>○利用客のパーマやカラーの考え方が変わり始めていて、カットのみが増えているので客単価が減りました。カラーもセルフカラーなので以前より減ってます。</p> <p>○北海道ラブ割りなど補助金がなくなり、宿泊客が伸び悩んでいる中、電気料や燃料費など経費がかさむことにより経営が悪化していきっている。</p> <p>○昨年からはIT部門で開発していた東京公社の仕事が一段落し、保守作業に移行する。安定したサポートができれば売上に寄与できるかもしれないので業況が良くなる可能性がある。</p> <p>○外国人労働者の採用を検討したが言葉の壁や資金など懸念材料が多く、意図するものではなかった。即戦力となる人材の確保は難しい。昨年欠員となった整備の補充が最優先。需要はあっても供給できないのがもどかしい。</p> <p>○少しずつ客足は戻ってきているがこれからの厳冬期にかけてどうなるかの不安がある。</p> <p>○主力であるイベントでの食品販売の業績が度重なる原材料の値上げで、原価率が大きく上昇し採算が合わないメニューも出てきた。メニューの再編と値上げ、アイテム数を増やして客単価を上げたい。新型コロナの影響により低迷していたが、今期はほぼ完全に回復し、物価上昇の影響で客単価も上昇したため。</p> <p>○度重なる原材料の値上げで、原価率が大きく上昇し採算が合わないメニューも出てきた。メニューの再編と値上げ、アイテム数を増やして客単価を上げたい。</p> <p>○資材費や燃料費の高騰、新型コロナウイルスによる利用者の減少が続いている。</p> <p>○後期も公共工事が見込まれず、先も大変厳しいです。経費や仕入単価も増加しており冬期間の燃料代が高額になり先が見えません。</p> <p>○コロナも終息に向かっているが、農業の暑さによる乳量の低下、人の動きの悪さにより8月は伸び悩んでいる。来店間隔が長くなっている。9月以降は元に戻っている。</p> <p>○コロナも5類になり、夏期の外貨、イベントが増えてきたことにより売上は上向きに見えますが、仕入上昇に歯止めが利かず利益はそんなにない見通しです。</p> <p>○コロナも落ち着き、イベント行事も開催されるようになった為、営業売上自体は多少増加した。しかし、まだ尚材料等仕入単価の上昇やエネルギー高騰の影響は大きく資金繰りも難しい。</p>